

防災特集

9月1日は防災の日! ～災害への備えを万全に!～

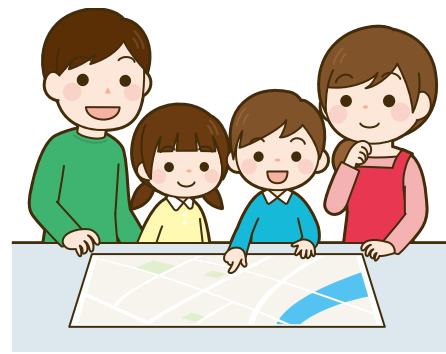
9月は、台風や秋雨前線等による風水害や土砂災害の発生が多くなる時期でもあります。また、「鈴鹿西縁断層帯地震」、「琵琶湖西岸断層帯地震」や「南海トラフ巨大地震」など滋賀県でも大きな被害が予想される地震にも注意する必要があります。



愛荘町防災ガイドブックは、『あなた自身と、あなたの大切な家族の命を守るための行動』についての情報をまとめたものです。毎日当たり前と思っているできごとや暮らし、あなた自身とあなたの大切な人を災害から守るために、この愛荘町防災ガイドブックを日ごろから確認できるよう、身近なところに置いていただき、家族や地域等で防災について、一人ひとりができることを考えてみましょう。なお、防災ガイドブックは、ホームページにも掲載しています。



▲防災ガイドブックはこちらから



災害発生に備え、最新の気象情報などを確認し、早めの避難を心がけてください。

キキクルの紫は警戒レベル4相当! (危険度分布) 自ら避難の判断を!

平成30年(2018年)7月6日
は暴風や豪雨による土砂災害の事例

「主キクル」赤
まもなく最大な被害となる可能性が高い

「主キクル」黄
避難が必要とされる状況の可能性が高い

「主キクル」紫
まもなく最大な被害となる可能性が高い

遅くとも紫が出現した段階で避難の判断を!!

命が危険にさらされる状況!もはや避難できない!

警戒レベル	住民がとるべき行動	市町村の情報	気象庁等の情報	災害発生情報
5	命の危険直ちに安全確保! ・すでに安全な場所へ移動し、命の危険な場所へは立ち入りしない。 ・土砂災害警戒区域等指定区域に注意する。	緊急安全確保 土砂災害警戒区域等指定区域	大雨特別警報 災害切迫	災害発生情報
＜警戒レベル4までに必ず避難!＞				
4	危険な場所から全戸避難 ・避難指示が発令された場合は、避難指示に従って避難する。 ・避難指示が発令されていない場合は、危険な場所から避難する。	避難指示	土砂災害警戒情報 危険	災害発生情報
3	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等の避難は、避難指示が発令された場合は、避難指示に従って避難する。 ・避難指示が発令されていない場合は、危険な場所から避難する。	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報 警戒	災害発生情報
2	自らの避難行動を確認 ・避難指示が発令された場合は、避難指示に従って避難する。 ・避難指示が発令されていない場合は、危険な場所から避難する。	大雨注意 洪水注意	注意	災害発生情報
1	災害への心構えを固める	大雨注意 洪水注意	注意	災害発生情報

気象庁 Japan Meteorological Agency
〒110-8431 東京都豊島区西池袋4-9-9
TEL: 03-6758-3900 (代表)
FAX: 03-3434-9085 (目撃不自由な方向)
ホームページ: https://www.jma.go.jp/ 4年6月

【自助】【共助】【公助】

災害対策には、自分自身や家族で備える「自助」、地域で助け合う「共助」、行政が行う「公助」の3つがあります。災害が発生した時には、それぞれが役割を理解し、連携することがとても重要です。



★自助・共助・公助とは

一般的に、災害時の助けは『自助=70%、共助=20%、公助=10%』といわれています。さらに、災害が大規模になればなるほど、行政（公助）の対応力は小さくなり、自助・共助の重要性が増大します。実際、阪神淡路大震災では家屋の倒壊による生き埋めや閉じ込めから救出された人のうち、約8割の人が家族や近所の方々によって救出されました。災害による被害を最小限に抑えるためには、自助・共助・公助の役割を知り、それぞれが災害対応力を高め、連携することが大切です。

自助・共助・公助の役割を知りましょう

自助

個人・家族など

「自らの安全は、自らが守る」これが防災の基本です。自分の手で自分・家族・財産を守る備えと行動を【自助】といいます。普段から災害に関する知識を身につけ、一人ひとりが防災意識を高め、災害に備えましょう。



共助

隣近所・自主防災組織などの地域コミュニティ

災害時は、地域での助け合いが不可欠です。近隣の皆さんと協力して地域を守る備えと行動を【共助】といいます。高齢者などの自力で避難ができない方の手助けをしたり、避難所運営での協力など、共助は地域を守るためにとても重要となります。地域での自主防災組織を結成し、地域の防災力を高め、災害に備えましょう。

公助

行政

町をはじめ、消防・警察・国・県といった行政機関、ライフライン各社などの公共企業の応急対策活動を【公助】といいます。災害時には、各機関とも、できるだけ早く応急対策活動を開始できるよう備えています。



【自助】【共助】【公助】の連携の輪を広げましょう

災害対策の基本は、一人ひとりが防災意識を高め、【自助】の力を高めることです。また、自分ひとりでは対応できなくなったときに頼りになるのが【共助】です。そして、【公助】の手を円滑に被災者へ届けるためには、【共助】との連携が欠かせません。災害は、いつ発生するかわかりません。いざという時に備えて地域が一体となり、みんなで【自助】【共助】【公助】の連携の輪を広げていきましょう。

☎ 暮らし安全環境課 (愛知川庁舎)
☎ 0749-42-7699 FAX: 0749-42-7377
✉ kurashi@town.aisho.lg.jp